

M. N. 英語英文学科・2 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

幼少期からディズニーなどの世界観が好きで、いつか海外の学校に行きたいと考えていたため、協定留学を目指しました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

英語の動画や音楽、SNS などを利用して、日常的に英語に触れるようにしました。1 年次の夏期休暇中には、出願資格に必要な IELTS のスコアアップのため ENGLISH SKILL-UP CAMP にも参加しました。またドイツ語圏への留学だったため、ドイツ語の基礎的な知識や発音をメインに学習しました。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習方法

英語音声で映画を見るようにしていました。もちろんリスニング能力を伸ばすためでもありましたが、字幕を日本語ではなく英語にすることで脳を完全に英語に切り替えるように促していました。

◆ ビザ申請方法

現地で VISA を取ると苦労するという話を先輩から聞いていたので、早めの段階から領事館のホームページを訪れ、空きを探していました。予約自体は特に必要書類がなかったので早めに見ておいて損はないなと感じました。

◆ その他

VISA 発行のために必要な書類や聞き慣れないシステムも多く、混乱してしまうため、なるべく早い段階で必要なものをリストアップし、準備をしていました。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

関西空港からフィンランドのヘルシンキ空港を経由してデュッセルドルフ空港へ向かいしました。Wi-Fi 環境下以外で携帯電話をあまり使いたくなかったため、事前に空港から家まで向かうタクシーを、航空会社を通して予約していました。関西空港からフィンランドに約 13 時間、フィンランドからデュッセルドルフに約 2 時間半、空港から家まで 30 分ほどかかりました。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

学校が多くのイベントを企画してくれており、参加自由なものも多かった印象です。グループに別れての市内散策や、ケルン大聖堂や近場のお城を訪れました。

◆ その他必要な諸手続き方法

WISE で日本円をユーロに変換し、EXPATRIO で閉鎖口座の開設と健康保険の加入を行いました。WISE であれば現地の ATM から現金を引き下ろすことも簡単で、物理カードの発行も可能なので、この 2 つが使いやすかったなと感じます。

⑤ 語学研修期間

語学研修期間なし

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

キャンパス内はかなり広く、学科によって建物が分けられています。施設は綺麗でとても過ごしやすい環境でした。

◆ 履修科目について

・ German A.1

授業内容：ドイツ語の基礎的なクラスでした。1 年次に第 2 外国語としてドイツ語を学んでいましたが、現地で使うような日常フレーズをメインに学び直したいと思ったため、A2 ではなく A1 を選びました。学生数はそこまで多くなく、質問しやすい環境でした。

課題・試験内容：最終テストは簡単なペーパーテストに加え、学生 2 人で自己紹介をし合うスピーキングパートがありました。

・ English B.2

授業内容：英語で英語を学ぶのはどのような感じなのだろうと興味を持ったため、1 つレベルを下げて B1 のコースを選びました。今まで自分の中で曖昧になっていたニュアンスの違いを、先生が丁寧にジェスチャーを交えて教えてくださり、とてもいい授業だったなと感じます。

課題・試験内容：最終テストはリスニング・リーディング・文法問題・ライティングに加え、スピーキングがありました。スピーキングでは先生から聞かれる質問のメリットとデメリットについて約 2 分で答え、そのあとに同じクラスを受講している学生とのディスカッションを行いました。

・ In the City! Music and Urbanisation in Cultural Perspective

授業内容：音楽と地域についての授業でした。先生が留学生に興味を持ってください、ほとんどの授業で留学生と現地学生を混ぜたディスカッションが行われました。フィールドワークもあり、普段過ごしているだけでは気づかないような街に溢れている音に注意を向けることができました。

課題・試験内容：最終課題はレポートでした。

・ International Perspectives on Social Work and Pedagogy - Part 1

授業内容：主に EU 圏内の社会問題について毎週違う先生が授業を行ってくださいます。私の印象に残っているのは子供の貧困についての授業で、心理学や教育学を混ぜ込んだ授業内容でした。

課題・試験内容：最終課題はプレゼンテーションとレポートのどちらかを選択することができます。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

留学生に向けたイベントが開催されており、ゲームナイトなどに時々参加していました。

⑧ 現地での住まいについて

定員数オーバーのため大学寮には入れませんでした。日本からの家探しで詐欺に合うのが怖かったため、樫の木という日本人オーナーが経営しているゲストハウスに住んでいました。最大 9 人で生活しており、1 人 1 部屋と共有スペース、共有のお風呂やトイレ、キッチンがそれぞれ 2 つずつありました。基本的には自炊です。大学までは電車で中央駅まで行き、そこから 3 駅で到着します。家から最寄り駅までの時間や駅から学校までの徒歩時間をすべて含めると約 45 分で到着します。

⑨ 長期休暇の過ごし方

1 セメスターのみの留学だったため、長期休暇はありませんでした。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

特に何もしていません。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

住んでいるところが少し田舎だったので、真夜中に友達と流星群を見に畑まで行きました。車通りも少なく明かりもあまりないのでみんなで狭めの道に寝転がって空を見上げた時間がとても思い出深いです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

行きの飛行機で 1 便目が遅延したため、乗り継ぎに失敗しました。今まで海外は修学旅行で行った台湾のみだったので、とても怖くてどうすればいいのだろうと不安でした。また、途中で事情がありハウスメイトと部屋を交換したのですが、その部屋の水道からかなりの量のコバエが這い上がってきており、不快でした。なぜか一度部屋にナメクジが出たこともありました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

窓に網戸がないので換気のために窓を開けると虫が入って来るし、開けないと換気できなくて空気が悪くなるということが起こりました。また、ほとんどの家にエアコンがなく、3 階の部屋では記録的熱波の影響で室温が 37 度を超える日が続きました。電車が当たり前のように遅れ、キャンセルされます。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

オリエンテーション期間やドイツ語の授業では多くの国からくる留学生と交流することができました。しかし、今回の留学期間に私の学科には日本人 3 人と韓国人 1 人のみの留学生だったため、普段の授業での関わりはあまりありませんでした。留学生に関わらず自ら行動して友達を作ることが大切だなと感じました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

大学生協で購入したパソコンを持っていきました。データ形式で教科書を使っている子が多く、書き込みのできるアイパッドのようなものがあれば便利だったかなと思います。収納があまり多くない部屋にいた時は少し大きめの S 字フックはあってよかったかなと思います。部屋にエアコンがないためとても暑くなります。ハンディファンや冷えピタがあるといいなと感じました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

スピーキングで完璧に話そうと思う気持ちがかかなり薄れたと思います。今までは、失敗するのが怖くてあまり積極的に話すことができませんでしたが、どうにかして伝えなければならぬ！という状況に何度もなるので、そこから失敗を経験して、少しのミスでも大丈夫だと感じるできるようになりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

単位や金銭面などの不安要素は多いと思いますが、少しでも留学に興味のある方はぜひ一度国際課に足を運んでみることをおすすめします。留学の経験だけでなく、自分の力で調べ

て大きな決断するという経験は今後の自分の挑戦への大きな糧になると思います。

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

はっきりとした将来の夢は定まっていないのですが、改めて自分は言語が好きだということに気づけたので、様々な言語を探究していければなと思います。

V. 写真



クロアチアのドゥブロブニクを訪れました。魔女の宅急便の街のモデルになった街の 1 つだそうで、オレンジの屋根と綺麗な海が同時に見える素敵な街でした。日本からの海外旅行では遠く、おそらくクロアチアに行こう！とは私はならないなと思ったので、すてきな場所を訪れるいい機会でした。